

学校法人東京女子大学中期計画

(2025 年 4 月 1 日～2032 年 3 月 31 日)

本学は、創立以来今日まで一貫して、キリスト教の精神をもって人格形成の基礎とし、リベラルアーツを柱とする女子高等教育を行ってきた。今次の中期目標として掲げられるのは、建学の精神である「キリスト教・リベラルアーツ・女子教育」という三つの要素を現代的に表現するための方策であり、その持続的発展のために必要な環境整備である。

- 本学のキリスト教は、大学本館正面に掲げられた QUAECUNQUE SUNT VERA という言葉の通り、「すべて真実なこと」を尊び、信念をもって時代に挑戦するための精神的な基盤である。
- 本学のリベラルアーツは、現代世界を担う市民としての人格を涵養し、既存の枠組みにとらわれず分野を越えた知の統合をはかり、高度な学問研究を遂行する能力を養うための実践的な方法である。
- 本学の女子教育は、独立した知性と判断力をもち、自信と責任をもって行動する女性を育成することにより、日本社会に平等と尊厳を実現するための課程である。

中期目標

【教育】

リベラルアーツ

- 本学がリベラルアーツ教育の大学であることを広く社会で認知させる。
- 多文化国際社会に柔軟に対応し得る人格形成のための新たな全学教育プログラムを構築する。

英語教育

- 地球市民育成のために、英語教育を本学のリベラルアーツ教育の土台の一要素として位置づけ、英語を持続的に学ぶ環境を充実させる。

AI 教育

- 21 世紀社会に必須の技能を育成するため、AI 教育を本学のリベラルアーツ教育の土台の一要素として位置づけ、全学的な学びを推進し高度化させる。

教育の質保証

- 学修成果の可視化と検証を進め、改善策を教育プログラムに反映させて本学の教育に対する学生の満足度を高める。

社会人等を対象とした教育の充実

- 100 年以上の女子教育の伝統を活かし、学生年齢層の多様化を見据えた社会人教育プログラムを企画し展開する。

大学院教育

- 2025 年度の学部改組を踏まえ、大学院教育の一層の充実を図る。
- 学士・修士 5 年プログラムの周知など、大学院進学者の増加に向けた取り組みを実施する。

ICT の活用

- ICT を活用して DX 教育を進め、高校や他大学（海外も含む）との連携を強化する。
- 授業において多様なメディアを効果的に活用（オンライン授業やオンデマンド授業等）することで、「多様な価値観が集まるキャンパス」を実現させる。
- 学修ポートフォリオを正課・正課外活動ともに充実させ、活用を推進する。

【研究】

- 研究ガバナンス体制を強化する。
- 若手研究者の支援を強化する。
- 科学研究費助成事業等の公的研究費獲得を促進する。
- 研究成果の国内外への発信を促進する。
- 研究を促進するための研究環境を整備する。
- 研究と教育の連携を推進する。

【学生受け入れ/高大連携】

- 志願者にとって魅力的で本学の学びにつながる入試方式の新規開発や拡充を図る。
- 首都圏を中心に据えつつも全国規模に協定校を拡充する。
- 本学の教育理念に沿った親和性のある高校に更なる連携強化を行う。
- 高校にとっても大学にとっても有意義で魅力あふれる新規の高大連携プログラムやプロジェクトを策定し、そのための体制を整備する。

【学生支援】

- 電子書籍やオンラインデータベースなどの電子媒体提供の拡充と利便性の向上を目指す。
- ICT を活用したラーニングコモンズを提供し、キャンパス内に学生の居場所を増やす。
- CTL の活動を定着させ、学生と教員双方を支援する制度を拡充する。
- 学修の知的基盤となる多読と精読を促すための読書の取り組みを行うとともに、学術的な日本語表現の運用能力を高める教育プログラムを強化する。
- 女性の多様な進路を見据え、自信と責任をもって主体的に行動する女性となるためのキャリア教育を推進する。

【グローバル化の推進】

- 本学と親和性の高い教育体制をもつ海外大学と提携し、教育プログラムを拡充する。
- 協定校を中心とした留学生の送り出しを促進する。
- 英語開講授業の増加をはじめとして正規留学生の受け入れ数を増やすための方策を企画立案し、キャンパスのグローバル化を図る。

【社会連携・地域貢献】

- 企業・自治体等と教育・研究上の協定を結び、寄付講座やインターンシップの活動を活性化する。
- 地域社会との連携を強化し、公開講座を充実させ、大学の社会的責任を果たす。
- キリスト教センターの活動を奨励し、学生のボランティア活動を推進する。

【管理・運営】

- コンプライアンスを徹底し、ガバナンスを強化していく。
- 適正で公正な法人業務を行い、リスク管理を適切に行う。
- 効率性、生産性を高める組織づくりを行い、DX化を推進する。
- ブランド力を向上させ広報機能の強化を図る。

【施設管理、キャンパス整備】

- 安全・安心のキャンパスを維持し、計画的に施設の修繕および更新を行う。
- 国際感覚を高めるための施設整備を行い、新たな価値と機能を創出する。

【人事】

- 国際化に対応するため、職員のグローバル人材の確保と育成を目指す。
- 職員の成長を促すための人事制度・キャリア制度を考案する。
- 年齢構成の適正化を図る。

【財務】

- 収入の多様化、安定的な財務基盤を強化する。
- 重点実施項目を定め、選択と集中による予算配分を行う。